

## 令和4年度 活動方針（案）

コロナウイルス感染症のニュースは昨年引き続き連日、新聞、テレビなどで報道されていますが、一刻も早く収束してほしいものです。

新産業廃棄物最終処分場については、候補地に諏訪の大平田地区が選定されたことが発表されました。その後、諏訪学区では、自治会単位や合同の説明会、県のフォローアップ説明会などが開催されました。その資料や要約された広報紙等は、出来るだけ自治会長やコミュニティの役員に配布されました。、産廃にする知識や理解が深まったのではないのでしょうか。今後の皆さんの判断や行動の一助になるものと考えます。「諏訪学区環境保全委員会」の活動もだいぶ軌道に乗る活動することができました。今後も、地域の皆様に産廃に対する情報を出来る限り提供致します。

今年は、昨年度末に実施された、コミュニティアンケートを整理、分析し、地域の皆様の要望を取り入れ、コミュニティ活動の指針となるもの作り、今後の活動に役だてたいと考えています。

コミュニティの各部、各委員会の事業についても3世代レク大会やふれあい秋まつりなど、地域の皆様のふれあいの場を深めるような行事にしていきたいと思います。

いつの時代でも、災害や犯罪から身を守る安全で安心できるまちづくりは重要です。一昨年は出来なかった、防災訓練も規模を縮小しながらも実施できました。今後も更なる拡充など、安全なまちづくりを推進していきたいと思います。

一方、少子高齢化の波は諏訪も例外ではありません。昨年敬老会に招待される予定だった80歳以上の方は730人です。これから10年後に敬老会へ招待される80歳以上の方は毎年50人程度の増加が見込まれます。

公共交通委員会では、『のりあいタクシー』の継続を望む声が非常に多く、学区ではこの声を市に届け、本格運用に対する助成を強く要望していきます。

自治会活動は、住民コミュニティの基本となるものです。自治会活動ではこれからますます増えるであろうお年寄りだけの世帯に対し、相互扶助のできるような優しい仕組み作りが望まれるところです。

コミュニティ推進会としてはこれらのことを考慮し、令和4年度の方針を下記のように致します。

合言葉  
活動目標

広げようふれあいの輪を  
地域全員参加で安全で安心な  
ふれあいのあるまちづくり

### 活動方針

1. 健康で楽しく活動できる、住みよいまち
2. 諏訪っ子を愛し、健やかに育てるまち
3. 環境にやさしい、きれいなまち
4. 災害に強い、絆のあるまち
5. いつまでも自宅で暮らせるための  
ふれあいのあるまち